

平成30年第4回定例会 所管事務調査資料

1 事項：上郷保育園等の複合施設について

(1) 進捗状況について

項目	日程	内容
1 設計者選定	H30.4.13	上郷保育園等移転新築工事基本実施設計業務委託候補者選定委員会第1次審査。10者⇒4者に選定。
	H30.4.23	上郷保育園等移転新築工事基本実施設計業務委託候補者選定委員会第2次審査。4者⇒1者に選定。
	H30.4.27	結果通知(委託業者決定)
	H30.6.4	上郷保育園等移転新築工事基本実施設計業務委託締結請負者：博建築設計室(有)、履行期間：H30.6.5～H31.3.28
2 基本設計	H30.6.5～ H30.12末	建物の規格や設えなどは、保育士など施設を使用する関係者から意見聴取を行いながら、市民ワークショップを3回、基本設計フォーラムを1回開催し、現在これらの成果を取りまとめ中。 ※基本設計に伴い調整した関係機関：愛知県子育て支援課、同障害福祉課、尾張建設事務所建築課、同指導課、尾張農林水産事務所林務課
	H30.5.6	平成30年度第1回長久手市財産評価審査会開催 ⇒前熊前山171、172の購入価格決定(72,500円/㎡)
3 用地取得	H30.10.23	土地売買契約締結 ⇒前熊前山171、172を前熊原山236-1、-2と交換 総額31,958,000円(440.8㎡×72,500円/㎡)
	H30.10.23	物件移転補償契約締結 ⇒前熊前山171、172の建物補償費、金55,715,237円
4 物件移転補償	H30.10.23	物件移転補償契約締結 ⇒前熊前山171、172の建物補償費、金55,715,237円
5 児童発達支援センター	H29～	障がい者自立支援協議会内の作業部会で児童発達支援センターの設置について検討を行い、その結果を「長久手市児童発達支援センター運営基本計画」として取りまとめ。また、同センターを含む広義の療育支援体制について、別に作業部会を設置し、継続検討中。

(2) 今後の予定について

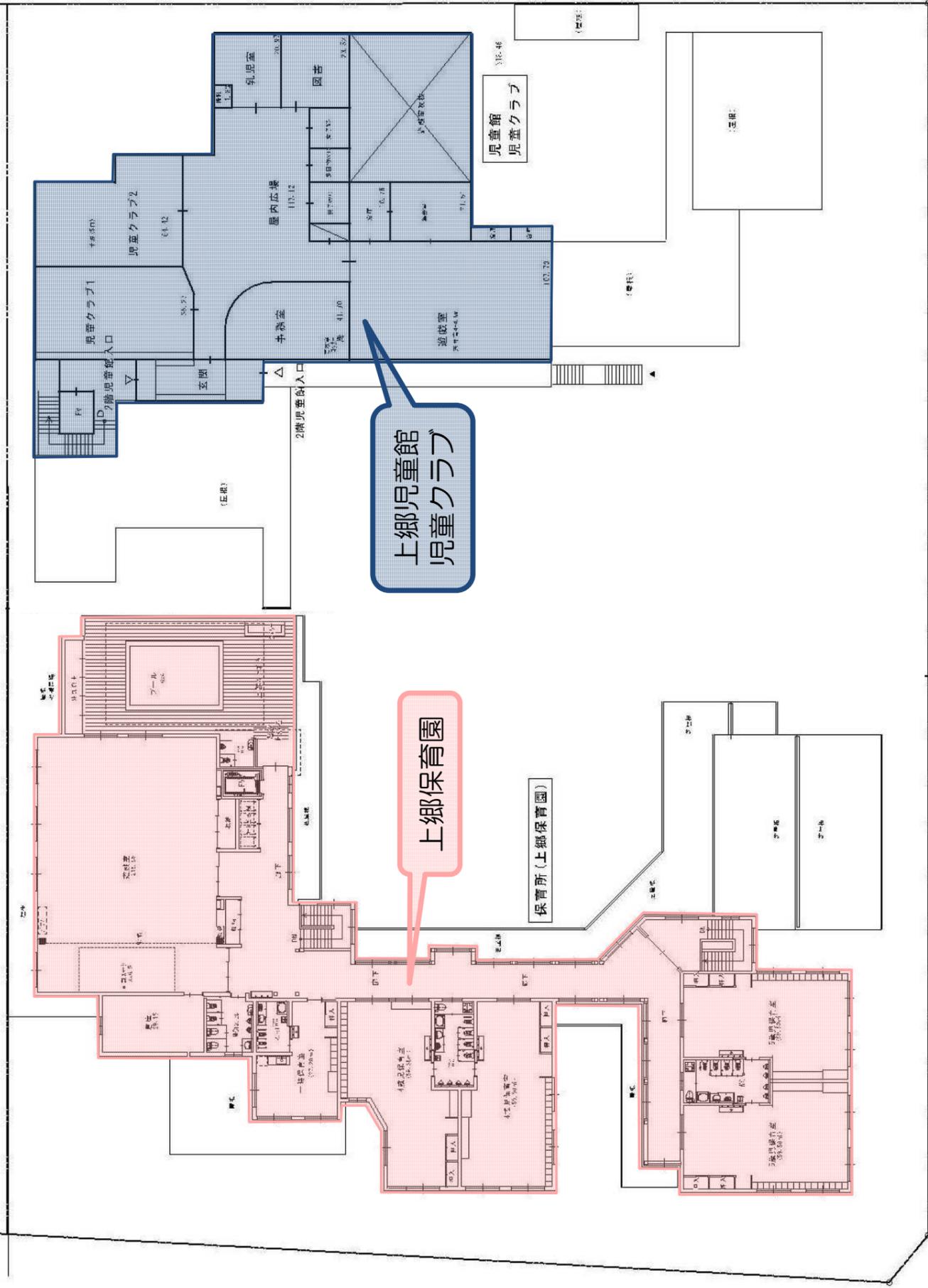
項目	主 要 内 容
1 実施設計	H31.1月～5月中旬 建物の規格や設えなどは、基本設計に引き続き保育士など施設を使用する関係者から意見聴取を行い、複合施設の使い方などについて市民ワークショップなどの意見を反映させながら実施設計を実施。
	ワークショップ H31.1～2月 第4回目のワークショップ予定。
	フォーラム (時期未定) 「みんなでつくった実施設計案の紹介」を予定
	委託工期の変更 みんなの気持ちをくみとった計画が予算見込額を超え、計画の見直しのため平成31年5月中旬まで工期の変更を予定。
2 施工業者選定	議会承認対象 H31.6月 基本設計の遅れに伴い、平成31年6月中旬の入札予定のため、第2回定例会の最終日に追加議案で承認を受ける予定。
3 工事予定	H31.7月～H33.3月 工事は、平成31年度に保育園(西側)と平成32年度に児童発達支援センターと児童館(東側)の2カ年で予定。

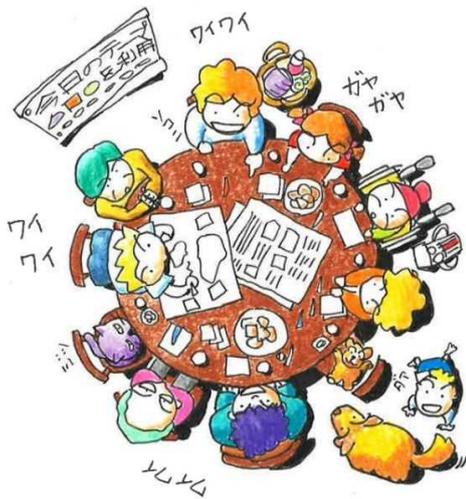
(3) ワークショップでの市民の意見について

日程	主 要 内 容	主 要 意 見	
1 H30.8.26	第1回ワークショップ	【テーマ】たのしい交流ゲーム&夢語りでキックオフ！ ◎「複合施設がこんな拠点になったらいいナ！」 ◎「私、こんなことでならお役に立てるかも？」 ◎川柳「こんな拠点になったらいいナ！」	◎複合施設がこんな拠点になったらいいナ！ ①緑が多い自然にふれあえる ②いろいろな人達が交流できるなど ◎私、こんなことでならお役に立てるかも？ ①見守り・付き添い②あいさつ・声掛け ③草刈・清掃など ◎こんな拠点になったらいいナ！ ①木も人もひとつになれるゆめしせつ。 ②たくさんの方が集まるよりどころなど
	2 H30.9.17	第2回ワークショップ	【テーマ】敷地タンケン隊～過ごし方をイメージしよう！ ◎「敷地タンケン隊」建物の配置計画(素案)に沿って、実際に現場を歩いて探検 ◎「過ごし方をイメージしよう！」イチョシ提案ベスト3を発表
3 H30.10.14	基本設計フォーラム	【テーマ】基本設計案の紹介 ◎「みんなでつくった基本設計案の紹介」 ◎「わくわく♪ポイント(評価・共感)」 ◎「ここが気になるー&教えて！(質疑)」	◎わくわく♪ポイント(評価・共感) ①木造で触れたり匂いお感じたり、五感を感じて過ごせそう。 ②保育園の先生達の意見を取り入れて設計することが素晴らしいなど ◎ここが気になるー&教えて！(質疑) ①外遊びの後の手洗い場は近くにあるの。 ②児童館に勉強する場所が欲しいなど
	4 H30.12.9	第3回ワークショップ	【テーマ】地域交流スペース。どう使う？どうつくる？ ◎「基本設計の変更となった箇所の説明」 ◎地域交流スペースを「どう使う？」「どうつくる？」
5 H30.11.25	第1回緑化イベント	【テーマ】どんぐりを植えながら園庭を考えよう！ 上郷地区の里山の風景を生かした施設とするため、長久手市内で拾ったどんぐりを使い、ポットに植え、保育園・すぎのこ教室・市役所で育て、この複合施設が完成するときに、みんなで拾って、植えたどんぐりの苗を植樹できるように、勉強会や植付け及び植替えのイベントなどを実施。	

上郷保育園等改築事業【2階】平面図

未定稿





~KAMIGO PROJECT OPEN SESSION 2018~

集合！上郷！未来へGO！

みんなde 語らって



8月26日(日)の午前、東小学校放課後子ども教室にて、農村環境改善センターのグラウンドに整備が予定されている保育園、児童館、児童発達支援センター、地域交流施設等の複合施設について、みんなde楽しくアイデアを語り合うイベント「みんなde語らって」を開催。市民、職員、設計チームなど52名が参加し、参加者どうしが交流したり、施設への想いを語り合いました。

たのしい交流ゲーム&夢語りでキックオフ！

1 あいさつ

主催者からのあいさつのあと、今回のイベントのねらいや、施設概要、整備スケジュールなどについて説明を行いました。



子育て支援課 門前課長

農村環境改善センターのグラウンドに、上郷保育園、児童館、すぎのご教室、児童発達支援センターの4つの機能を持った施設を整備します。昨年、地域の皆様には自治会の回覧などで周知させていただきました。

今年度中に設計を完了し、来年度に保育園、翌年にその他の施設を整備していきたいということで、これまで、各施設に関連する職員と我々と設計者とで一緒に考え、設計業務を進めていますが、より良い施設にしていくために、皆様から「こういう施設にしたい」という声をいただきたいと思います。また、せっかく地域の子育ての拠点ができ、地域交流の施設も設ける予定ですので、「こういうことならお手伝いできるよ」「こんなことなら参加したい」といったことも語っていただきたいと思います。

施設概要 整備スケジュール

上郷保育園は約1700㎡、定員232名。上郷児童館は約500㎡、第二児童クラブの定員60人。児童発達支援センターは約1050㎡、定員40人。すぎのご教室は定員20人を予定しています。建物は木造を基本と考えていますが、一部、鉄筋コンクリート造になる可能性もあります。保育園は平成32年4月、児童館と児童発達支援センターは33年4月の開設予定となっています！

2 アイスブレイク(交流ゲーム)

簡単なゲームや、自己紹介などで、参加者どうしが交流。緊張もほぐれて、笑顔あふれる楽しい時間になりました！



3 えんたくん会議 (夢語り)

8つのグループに分かれ「複合施設がこんな拠点になったらいいな！」と「私、こんなことでならお役に立てるかも？」について1人ひとりのアイデアを交換。最後に「こんな拠点になったらいいな！」をグループで1つの川柳にして発表しました！

こんな拠点になったらいいな！

- 緑が多い 自然にふれあえる
- いろんな人達が交流できる
- 複合施設ならではのつながり
- 地域のみんなが利用できる
- ぬもりを感じる
- いつも何かをやっている
- のびのびと遊べる
- 動物とふれあえる
- イベントができる
- 農村改善センターや小学校との連携

その他 長久手らしい教育体験、このエリアの特色を出したい、日当たりがよく風通しの良い場所、大人も楽しめる、安心して遊べる、子どもの自主性が育つ環境、食でつながる拠点、マルシェができる、子育ての相談ができる、先生が保育しやすい、静かに学習できる、災害時に利用できる、駐車場に困らない、メンテナンスしやすい など

話しチームよりプロポーザル案の説明



木造2階建て。園庭を囲んで建物を配置。



自然にふれあえる施設にしたい！みんなでどんぐりを拾って苗を育てて園庭に植えられたら！



こんなことでならお役に立てるかも？

- 見守り・付き添い
- 子どもの遊び相手
- あいさつ声掛け
- 緑の世話のお手伝い
- 草刈り清掃
- スポーツを教える
- 園庭の野菜で食を伝える
- 建物のメンテをみんなで
- お母さんの心のケア相談
- イベントのお手伝い・参加！
- 紙芝居工作お絵かき

夢語り川柳

- 全世代どんぐり拾おうかみGo de!!
- 人・自然おまつりさわぎでジブリ感
- 木も人もひとつになれるゆめしせつ
- つながりとこどもそだてるみどりえん
- いつもいるだわかがやってる緑の丘
- たくさんの人が集まるよりどころ
- かみごうの自然の中で子育てを
- 園庭が植食色たのしいね

ひとことアンケートより 初対面の方々と和気あいあいと楽しく参加できた／世代を超えた交流ができた／たくさんの人の意見が聴け、とてもいい体験をした／みなさんの目指すところは同じなんだと思いました！／保育園だけでなく地域とのふれあいが大切なんです／子どもたちの未来を思い直した会でした／長久手、上郷のこの地がとても愛されていることが分かり、住民として嬉しい限りです ほか

長久手市役所 子育て支援課施設係
 TEL:0561-56-0633 (直通)
 FAX:0561-63-2100
 E-mail: kosodate@nagakute.aichi.jp

語らって② 9月17日(月・祝) 9:30~
 東小学校放課後子ども教室 にて
 「敷地タンケン隊〜過ごし方をイメージしよう!!」

4 発表&共有

各グループで出されたアイデアや「グループのイチオシ提案ベスト3」を発表しました。

各グループのイチオシ提案ベスト3

月グループ

- ★多世代が集える場所
- ★園庭ごとにテーマを
- ★大きな木を残す



小さな園庭がいくつかあるので、バスケットゴールがあるなど、それぞれの庭にテーマをつけて特徴を出せると良い。今ある大きな木も残せるものは残して、クリスマスツリーとかにできるといい!



火グループ

- ★足湯&ビアガーデン
- ★緑：木に親しむ
- ★交流：混ぜ込め

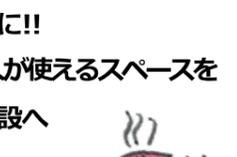


保育園2階の木製デッキ&プールを活かし、足湯やビアガーデンに利用するなど、みんなが楽しめる場所になるといいなあ。退職世代の見守り隊やものづくり隊など、多世代が混ぜられ合うといい!

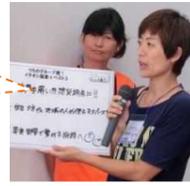


水グループ

- ★井戸を用いた防災拠点に!!
- ★休日・夕方 etc 地域の人が使えスペースを
- ★果実・野菜で繋がる施設へ

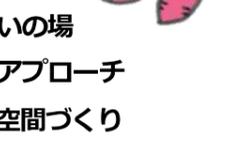


井戸を掘って防災拠点・お迎え場所に! 施設全部でなくて良いので、休日や夕方など地域の人マルシェにも使えるような工夫もあるといい。果実とか野菜づくりでみんなが繋がれたら!



木グループ

- ★クスノキを生かした憩いの場
- ★南側からのウェルカムアプローチ
- ★2階の眺めを生かした空間づくり



大きなクスノキの下が憩いの場になれば、南側からも気軽に入れるような雰囲気ができるといいね。また、2階からの眺望が良いので草屋根の上も活用も。働く人達がリフレッシュできる空間もあるといい!



金グループ

- ★畑・果樹→みんなで作って食べたい!!
- ★木登り、木かげ 座って憩える園庭
- ★みんなで混ぜられ合う



畑や実なる木を植えて、みんなで収穫し、調理して食べたい。木登りができたり、ベンチに座ったり憩えるような園庭になるといい。各施設のみんなが日常的に交流できる仕組みがあると!



土グループ

- ★親が子どもを待っていることができるフリースペース。土間的な玄関(お茶、会話が出来る)
- ★児童が学校で遊べると良いですね。来るだけじゃなく行くことも
- ★どろんこ山はつくりましょう!

迎えに来た親が待つことができる昔の家の土間のような場所ができるといいです。隣接している東小学校でも遊べるといい! どろんこ山、芝屋根はぜひつくりましょう!



日グループ

- ★調理の様子・大人が働く姿が見えるように!
- ★シニアとの交流!
- ★敷居をつくらない!



厨房をガラス張りにして、子どもたちから大人が調理をしている様子が見えるように。また、地域のおじいちゃん・おばあちゃんと交流できるといい。いろんな意味で敷居をつくらないことが大切!



ひとことアンケートより

自由に意見が言いやすい雰囲気で大変よかった/とてもあたたかく楽しい時間をありがとうございました/いろんな気づきをいっぱい聞かせてもらえて楽しかった/とても素敵な交流でした/みんな思うことは同じだと思った。これが実現できたらすごいことだと思う/様々な意見が出たけど「みどり」「多世代で多様」は共通していた/自然物、人を活かした仕掛けづくり/お助け隊など組織づくりについて話し合えるといい ほか

長久手市役所 子育て支援課施設係

TEL:0561-56-0633 (直通)
FAX:0561-63-2100
E-mail: kosodate@nagakute.aichi.jp

フォーラム「はじめての歩」

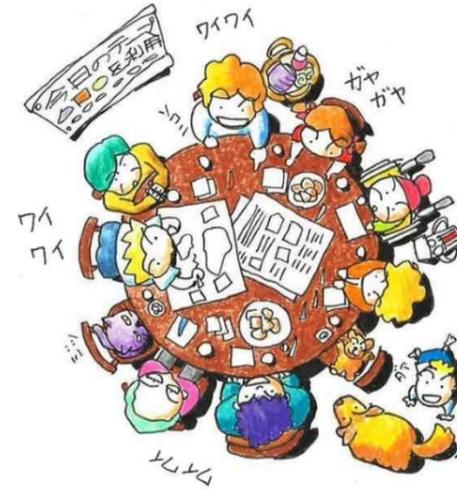
10月14日(日) 9:30~12:00
長久手市 福祉の家 研修室にて
第1部:基本説明のご紹介 第2部:おしゃべりカフェ

~KAMIGO PROJECT OPEN SESSION 2018~

集合! 上郷! 未来へGO!

みんなde語らって 2

9月17日(敬老の日)のあさ、東小学校放課後子ども教室にて、農村環境改善センターのグラウンドに整備予定の保育園、児童館、児童発達支援センター、地域交流施設等の複合施設について語り合うイベント「みんなde語らって」の2回目を開催しました。市民、職員、設計チームなど49名が参加。まずは敷地探検をしたあと、図面を見ながら、過ごし方のイメージ、それを実現するための「しくみや人材」、「設計内容や備品」について意見を交わしました。



敷地タンケン隊~過ごし方をイメージしよう!

1 配置計画の説明

設計者より、前回の「みんなde語らって」や、現場で働く職員の方々のアイデア・ご意見をいただきながら検討を進めている設計の最新案について説明がありました。

建物は基本的には木造にし、保育園の遊戯室となる辺りの一階部分のみがコンクリートになる予定です。児童発達支援センターは、バスで来る人は南側、車で来る人は北側の入口から入ります。その2階に児童館を配置し、ちょうど東小学校から入ることのできる高さになっています。



プログラム

1. あいさつ
2. 前回のふりかえり
3. 班分け~プチアイスブレイク
4. 配置計画の説明
~敷地タンケン隊
5. グループワーク
「過ごし方をイメージしよう!!」
6. 発表&共有
7. あいさつ

2 敷地タンケン隊

7つのグループに分かれて、三角コーンとビニール紐で建物の位置出しがされた敷地を探検。建物配置やスケール感を体感したほか、敷地内にある木や、周辺の施設や道路と施設との関係などを見て回りました。

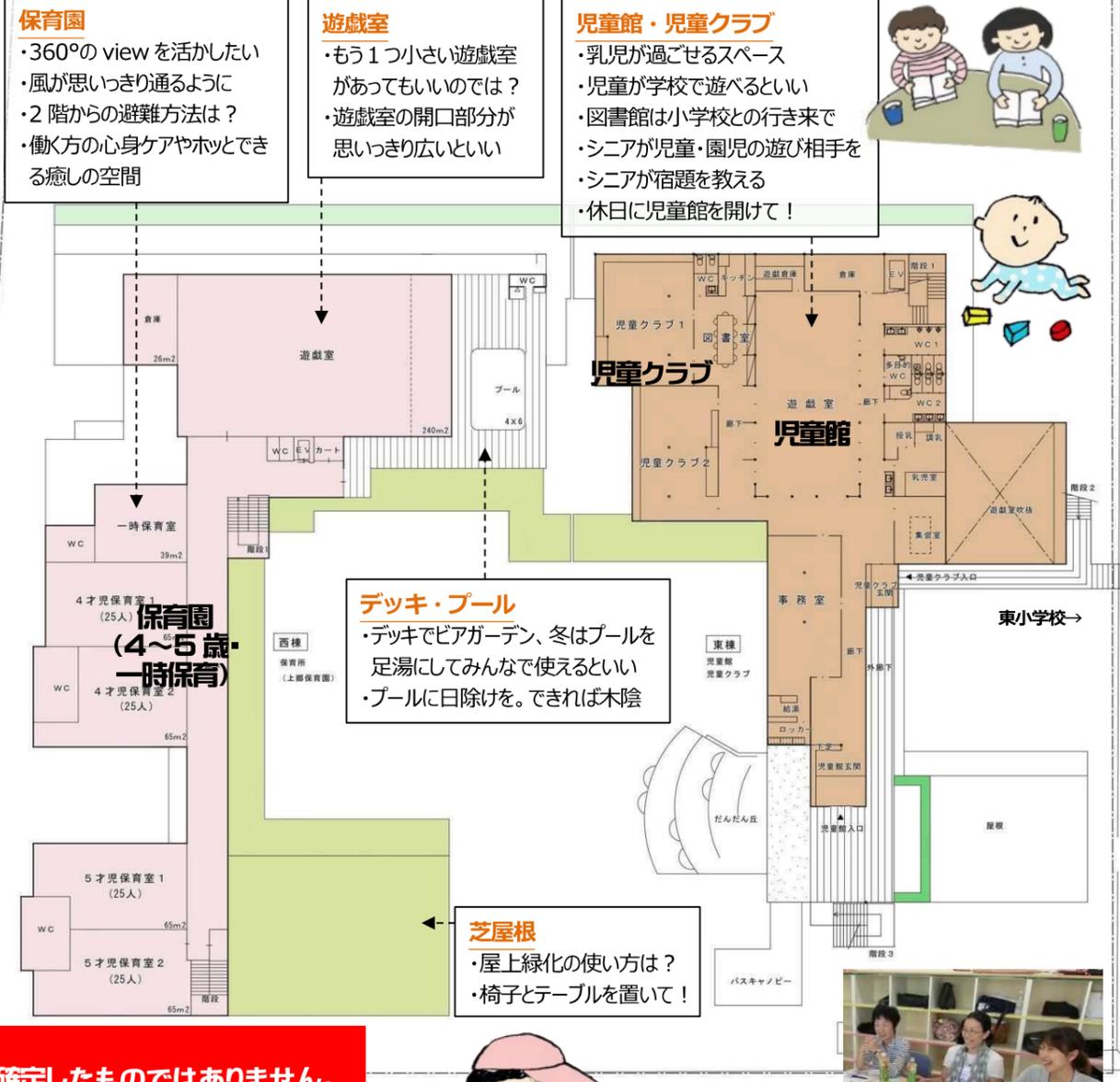
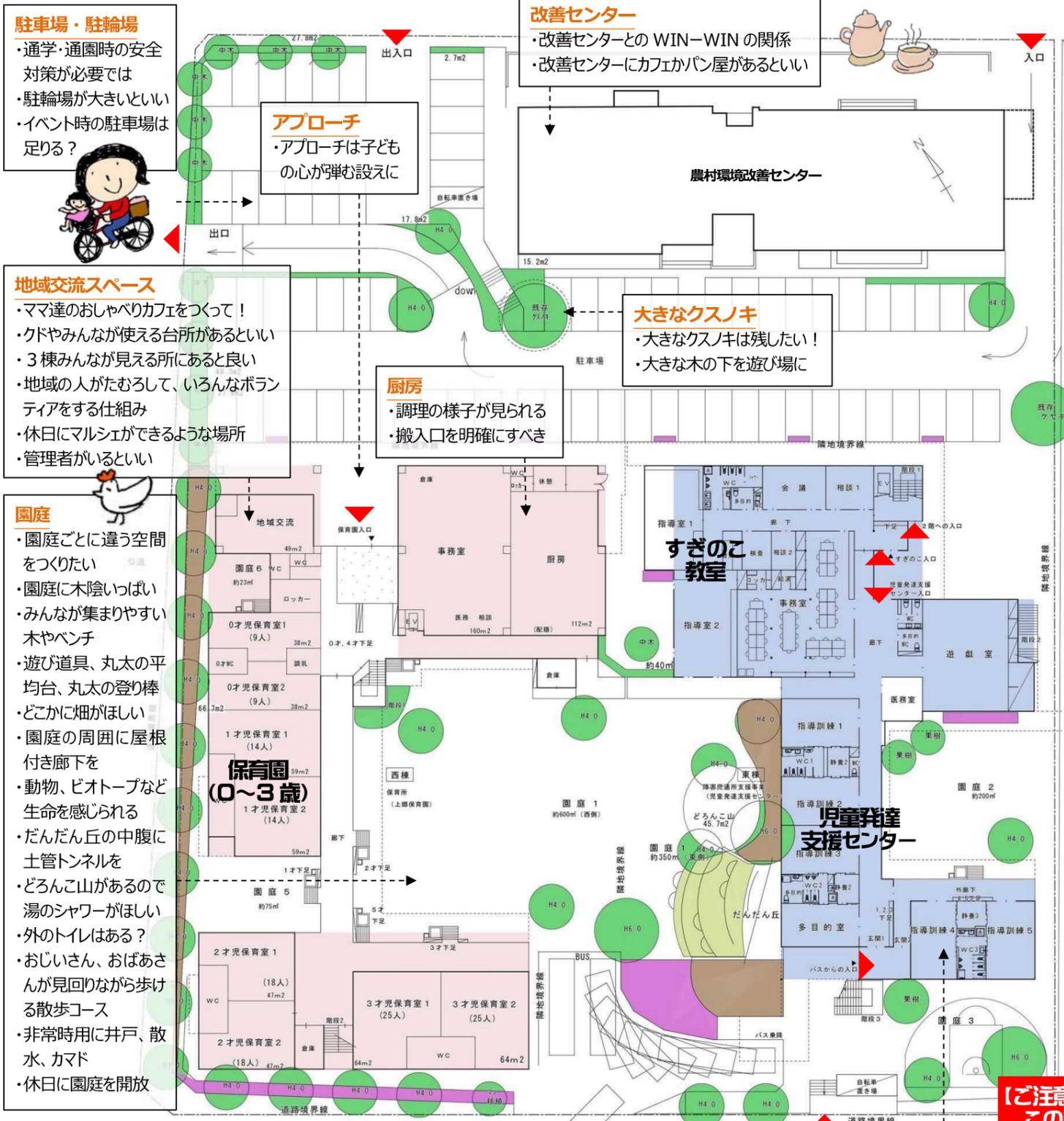


木陰が気持ちよさそう! 大きなクスノキ



3 グループワーク「過ごし方をイメージしよう！」

作成を進めている最新の図面を見ながら、「こんな使い方・過ごし方したい！」や、それを実現するための「しくみや人材」、「設計内容や備品」などのアイデアを出し合い、最後に「イチオシ提案ベスト3」を考えました。まずは、各グループで出たアイデアの一部を紹介します！

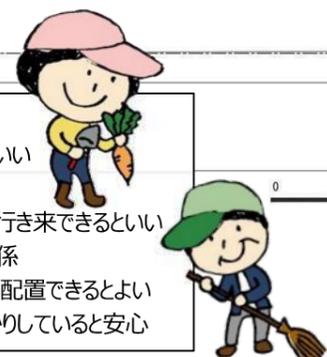


- 保育園
- 児童館・児童クラブ
- 児童発達支援センター・すぎのこ教室
- 緑地 (高木・中木植栽)・屋上緑化 (プランター)
- 緑地 (芝)・屋上緑化 (芝屋根)
- 花壇 (畑)
- 緑地 苗木植栽エリア
- パーゴラ (草花)

バス出入口
 ・お迎えや交流の場へ入りやすいような雰囲気を
 ・園庭との仕切りをフェンス以外でできないか？
 ・通学の小学生が安全に通れるように

児童発達支援センター すぎのこ教室
 ・送迎に来た親が集える場
 ・園庭に大きな木を植え、その下にブランコ、ハンモック
 ・キンカンなど、すぐ食べられる果樹がほしい

連携・交流
 ・各施設が日常的に混ざり合える仕組みがあるといい
 ・各施設の横断的な連携を強化してほしい
 ・運動会は小学校の校庭で。日常的に小学校と行き来できるといい
 ・退職世代の見守り隊・ものづくり隊・緑のお世話係
 ・各施設のボランティアをまとめるコーディネーターを配置できるとよい
 ・誰でも立ち寄れる⇒安全面、セキュリティもしっかりしていると安心



2階平面図

【ご注意！】
 この図面は確定したものではありません。



4 おしゃべりカフェ

8つのテーブル・テーマの中から好きなものを選んで楽しくおしゃべり。全部で2ラウンド行い、話した内容をテーブルマスターが最後に紹介しました。

おいしい隊
外の農地も利用できるといい。厨房とは別にキッチンがあって、多世代が関わられるように

あそび隊
クローバー、クヌギを植えたい！花壇がほしい！木製遊具を！動物も飼えるといい！小学校のグラウンドや農村環境改善センターの体育館を使えるようになれば…

いろいろ隊
子どもがいろんな野菜や植物を育てられるといい。食べておいしいものを。地域の方に教えていただきながらできないかな？

ささえ隊
計画的な修繕計画を。木は悪くなってからではなく、ちよこちよメンテナンス。一人に頼らず、みんなで協力しながら、ゆるいお助け隊ができるといいね

つながり隊
健全者、障がい者がダンスを通じて一つになれば。0歳から100歳まで集まれるイベントがあるといい。各施設をまとめるコーディネーターがいて、定期的に話し合う場ができれば！

みどり隊
せつかくの施設なので自然の教育をやっていこう。耕作放棄地があるので、園庭だけでなく掘げていってジブリ感を！

まざりあい隊
地元の顔見知りの方と新しく引っ越してきた方など、いろんな立場の人の混ざり合いを！食やアートでつなげられるといいな

みまもり隊
お互いの顔がわかるように。地域交流スペースが入口にあるのでコーヒーが飲めるサロンになってほしいやっていると、不審者も来ないんじゃない？

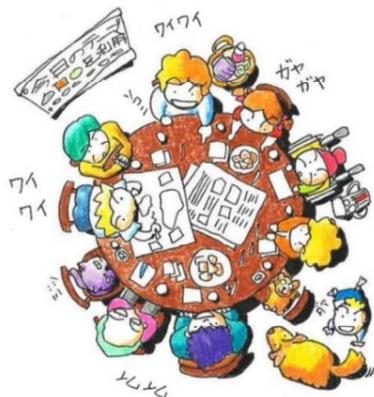
5 感想・質問カードの紹介・回答

カードに書かれた質問1つ1つに回答しました！



わくわく♪ポイント (評価・共感) ●緑がたくさん！●屋上緑化が新しい●自然に囲まれてのびのびと屋外で遊べそう●子どもの年齢や発達段階により園庭の大きさを変えることがステキ●いっぱい走りまわれそう●テラス廊下●交流スペースがある●小学校から直接の渡り廊下が良い！●木造で触れたり匂いを感じたり、五感を感じて過ごせそう●保育園の先生達の意見を取り入れて設計することが素晴らしい など

ここが気になるー&教えて！ (質疑) ●**保育園は玄関から下足まで靴を持って歩きますか？**→0才と4才以外は、基本的に園庭に面したところにある靴箱まで持っていられます。●**ウッドデッキのメンテナンスは？**→腐りにくい製品を使いたいと思います。●**保育園の男性職員用の更衣室がなくても大丈夫？**→実施設計の中で詰めていきます。●**地域交流スペースはどう使う？**畑は誰がどんなふうに使おう？→これから地域のみなさんと話し合いながら考えていきたいと思います。●**屋上緑化で枯れたり虫害が起こったりしない？**→虫は出ますが、鳥が食べてくれるので大量発生まではしないと思います。緑は、いろんなものを複合的に入れるので、一度に全部枯れることはないと思います。●**保育士さん 20~30 人に対し駐車場は足りませんか？**→職員用の駐車場は外部でと考えています。●**階段を通らず各施設まで行けますか？**→改善センター東側を通る出入口からは、階段を使うことなく入ってきていただけます。●**改善センターの北側道路が狭いので、送迎が心配**→U字溝の蓋を整備することで5mの道路幅を確保したいと思っています。●**庇が大きくていいけれど、室内の自然光での明るさは？**→明かり採りを設けます。●**東小からの通路は本当につながる？**→これから教育委員会の方に打診していこうと思っています。 など



ひとことアンケートより

楽しくプログラムが進んでよかった。いい雰囲気だった/取り組みがよく理解できました。完成が楽しみです/前回からより良くなっていて今後は楽しみです/疑問点にひとつひとつ答えていただきとても良いなと思いました/上郷の未来を育てるために今がある。子ども、親の意見がほしい ほか

長久手市役所 子育て支援課施設係
TEL:0561-56-0633 (直通)
FAX:0561-63-2100
E-mail: kosodate@nagakute.aichi.jp

「みんなde植えよう」(どんぐりイベント)
11月25日(日) あさ9時30分~
平成こども塾にて

「交流スペースを考えよう！」
12月9日(日) あさ9時30分~
東小学校1階(増築棟) 放課後子ども教室にて



~KAMIGO PROJECT KICK OFF FORUM 2018~ 集合！上郷！未来へGO！ フォーラム「はじめの一歩」

10月14日、日曜の午前、上郷保育園、上郷児童館、児童発達支援センター、地域交流施設等の複合施設の基本設計案のお披露目を兼ねた「フォーラム」を福祉の家で開催し、市民、職員、設計チームなど45名が参加しました。前半は、これまでにワークショップ「みんなde語らって」などでいただいた地域の皆様のご意見や現場職員の経験等も活かしながら検討してきた基本設計案をご紹介します。後半は「みどり隊」「あそび隊」など8つのテーブルに分かれて「ワールドカフェ方式」で意見交換しました。

みんなで作った基本設計案のご紹介！

1 プロジェクト全体の説明

この事業は、農村環境改善センターのグラウンドに「保育園」と「児童館」を移転し、新たに就学前の児童のための通所支援施設「児童発達支援センター」を一体的に整備するものです。センターの中には発達に心配のある1歳半~就学前までの児童と保護者を対象とした「すぎのご教室」を併設。また、保育園側には地域の方が集まれる「地域交流スペース」も整備する予定です。

構造は「木造」を基本とし、木造でできない部分を一部鉄筋コンクリート造とする予定です。工期は、今年度に設計業務を完了し、2か年で工事を行い、平成31年度に保育園、32年度に児童館と発達支援センターを整備予定です。

使いやすい施設にするために、これまでに施設で働く先生達、現場の職員と設計チームとの座談会を何度も行いました。また市民の方を対象としたワークショップもこれまでに2回行い、そこでいただいた生の声を活かしながら今回の基本設計案(確定前)が完成しています。

プログラム

1. あいさつ
2. プロジェクト全体のご説明
3. 基本設計案のご紹介
4. 感想・質問カードの記入
5. おしゃべりカフェ
6. 感想カード紹介・質問の回答
7. あいさつ

2 基本設計案のご紹介~感想・質問カードの記入

設計チームから、これまで進めてきた基本設計案の説明を聞いたあと、参加者1人ひとりが、「感想(わくわく♪ポイント)」と「質問(ここが気になるー&教えて!)」をカードに書き、壁一面に貼り出しました。



1/50サイズの巨大模型で設計のイメージを確認!

3 基本設計案のご紹介

設計チームより、これまでに市民参加&職員参加で検討してきた基本設計の成果(案)を紹介しました!
(現段階での設計案で、決定ではありません)

駐車場
 ・全体で65台。
 ・駐車場はメイン駐車場と改善センターの西側の駐車場の2つに分かれていて、メイン駐車場は改善センター脇から入り西に抜けて出る一方通行



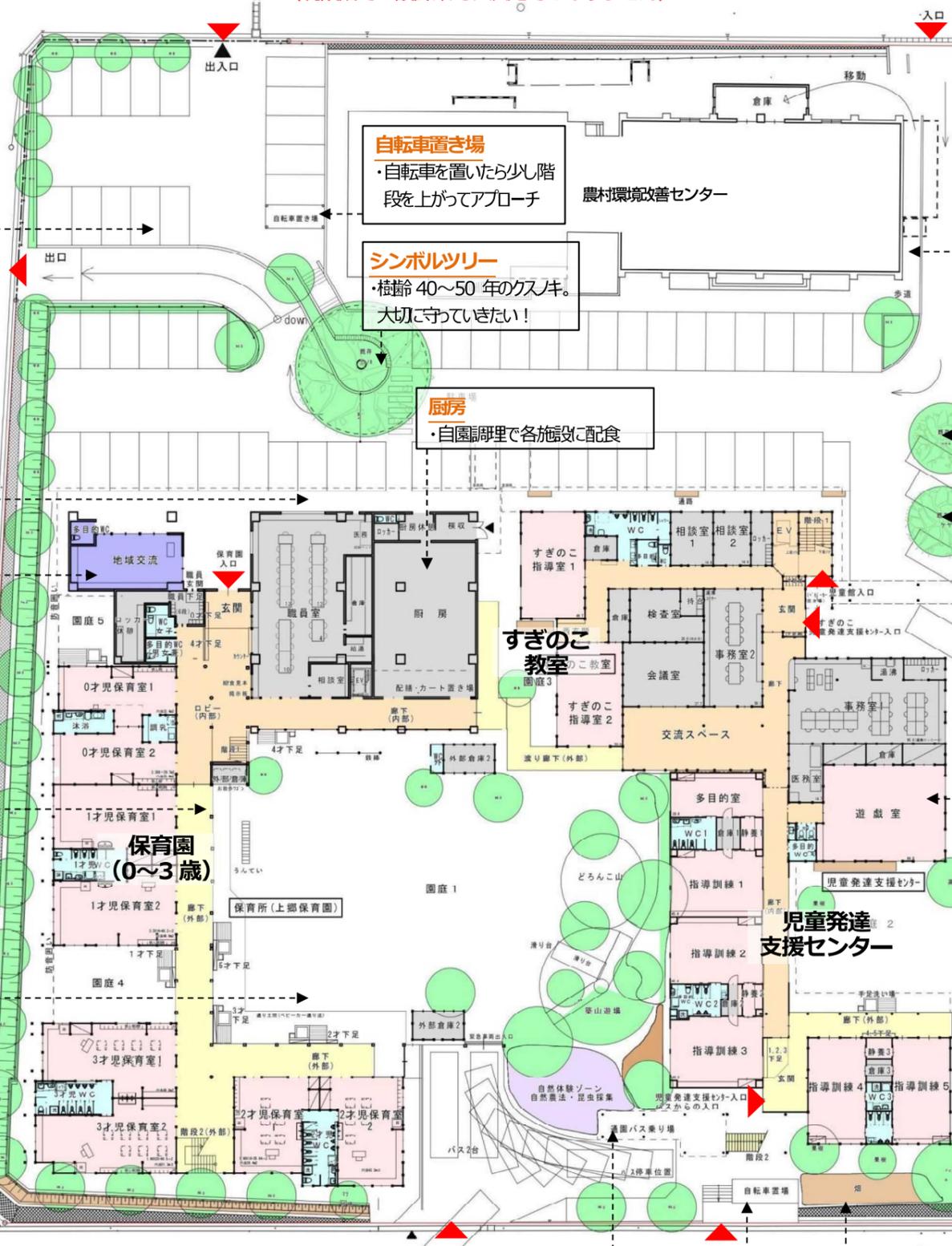
回廊
 ・建物北側の、大きな屋根のかかった回廊を利用してマルシェや地域のイベントを!

地域交流スペース
 ・お助け隊など、地域の方の活動の拠点に

外廊下
 ・幅3mの外廊下に、さらに軒が2.4m、全部で5.4mの底があります。雨の日も走り回れる遊び場!



園庭
 ・園庭は全部で5つ。大きい園庭の他、各施設・年齢の子が安心して遊べる園庭を配置。
 ・メインの園庭には、緑の築山、どろんこ山、自然体験ゾーンを



自転車置き場
 ・自転車を置いたら少し階段を上ってアプローチ

シンボルツリー
 ・植樹齢40~50年のクスノキ。大切に守ってきたい!

厨房
 ・自園調理で各施設で配食

すぎのこ教室

児童発達支援センター

歩道
 ・歩いて来る人は、この歩道を通して建物入口へ

ケヤキ
 ・既存の樹木で残せるものは大事にしながら!

遊戯室
 ・特殊な器具を備えた遊戯室。

保育園(4~5歳一時保育)

デッキ・プール
 ・屋上緑化の緑が見える、見晴らしのいいテラス。
 ・デッキには、埋め込み式の常設プールを設置

乳児室
 ・お母さん達が交流できる場所に

屋外広場
 ・眺めがよいテラス。園庭を眺めながらお弁当を!

児童館・児童クラブへのアプローチ
 ・(1階より)自転車を止めて少し階段を上り、バス乗り場の脇にある階段を上って2階へ。屋外広場を抜け外廊下を歩いて行くと児童館の玄関があります



設計チーム代表 石橋さん

構造は、基本的には木造、しかも集成材でなく無垢の木、できれば県内産のスギ・ヒノキを使って建てようとしています。大きなスペースが必要な部分、2階の音が気になる部分は鉄筋コンクリート造にしようということで、これからさらに検討していきます。



緑化担当 中尾さん

屋内広場
 ・玄関を入ると、遊戯室ほどの広さの屋内広場。柱があって溜まりのスペースもある遊びの場に!それを囲むように各室を配置しています



外から見ても、中に入った時も、緑に囲われてる!というイメージになると思います!泥の土、築山の土、園庭の土、同じ土でも違う感触があることを感じてもらえる仕掛けも考えています!

- 部屋
- 玄関・交流スペース・ロビー・廊下・階段・EVなど(屋内)
- 廊下・階段(屋外)
- 地域交流スペース
- トイレ
- 事務室・厨房・相談室・検査室・ロッカー・倉庫など
- 樹木・緑化スペース
- 畑
- 自然体験ゾーン

バス乗り場
 ・児童発達支援センターの通所用バス乗り場。屋根付き。バス2台の駐車スペースがあります。

自転車置き場 **畑**

内廊下
 ・3mの幅の屋内廊下。遊戯室も合わせると長さ50m!!
 ・芝屋根の緑、園庭が見下ろせる見晴らしのいい場所



1階平面図・配置図

2階平面図



みんなde植えよう 48名

11/25(日)に、市民のみなさまと一緒に、どんぐりの苗作りスタート!
これまでみんなで拾ったどんぐりを、苗床に蒔いて育てます。

タイムスケジュール

9:30~	はじめに
9:45~	長久手の里山に関して
10:15~	どんぐりの不思議とパワー
10:45~	休憩
10:55~	アイスブレイク
11:05~	どんぐりの植え付け
11:40~	振り返り・あいさつ・アンケート
11:55~	番外編 木望の森見学



長久手の里山 お話し:ながくて里山クラブ 横田様

長久手はみどりはありますが、よく見ると竹やぶが多くをしめます。竹やぶの原因は放置されていることが主な原因です。森林の姿は降水量によって決まるため、長久手は手を入れないと暗い森に向かいます。里山として管理するには手を入れて続けて、明るい落葉広葉樹中心の森にする必要があります。



どんぐりの不思議とパワーを教わりました

お話し:どんぐりモンゴリ 角和様

子供の頃、どんぐりを見たら拾いたくありませんでしたか?どんぐりは縄文時代の主食。とても日本人にとって馴染みのある木の実でした。

森と海

豊かな森の下流の海は、とても豊かな漁場になるそうです。それは、山からの恵みが雨や川を通り、海に流れ込むことで、恵みが届けられるから。どんぐりモンゴリでは、震災で傷ついた東北の森に、どんぐりの苗を植え、自然の再生を目指しています。

神社とどんぐり

なぜ、神社に樹木が多い?どんぐりの木は、火災から神社を守りました。また、地中深くに根をはることで、地震の揺れから守る役割もあります。



どんぐりの植え付け お話し:どんぐりモンゴリ 角和様

拾ってもらった、どんぐりの中から6種類、常緑(ツクバネガシ・マテバシイ・シラカシ)・落葉(アベマキ・フモトミズナラ・コナラ)を用意しました。8班に分かれていただき、育苗箱にペーパーポットを広げて、土を半分程度入れてから、どんぐりを横向きに並べます。その後どんぐりの大きさの1~1.5倍程度の土を覆土し、最後に落ち葉を撒きます。

育苗箱に植えたどんぐりは袋に入れて、保育園とすぎのこ教室と市役所で4~5月まで育てます。



2018年(30年度) みんなde植えよう
無事、終了しました!ありがとうございました!

2019年5月ごろ、みんなde植え替えを行います!
引き続きのご参加をお待ちしております!



KAMIGO DONGURI PROJECT 2018

みどりをつながる園 上郷について

みどりをつながる

長久手市では、農村環境改善センターのグラウンドに上郷保育園、上郷児童館、児童発達支援センター、地域交流施設等の複合施設を整備するプロジェクトが進行しています。31年度に保育園、32年度に児童館と児童発達支援センター・すぎのこ教室を建設予定です。建物自体のワークショップと並行して、計画地内の「みどり」を、市民のみなさまと、実際に働く先生方と一緒に作る取り組みとして、KAMIGO DONGURI PROJECT(以下、どんぐりプロジェクト)を企画しました。

どんぐりから育てる

どんぐりプロジェクトでは、上郷の複合施設に関わる多くの大人や子供達と、どんぐりから苗木を育て、計画地に植えようと考えています。植えた後もみんなで手を入れ続けて、木を活用しながら、維持管理する方法を考えていきたいと考えています。

KAMIGO DONGURI PROJECT 全体スケジュール

2018年(30年度)	2019年(31年度) 5月ごろ	2020年(32年度) 3月ごろ	2021年(33年度) 3月ごろ
どんぐり勉強会 みんなde植えよう	みんなde植え替え	みんなde植樹 その1	みんなde植樹 その2
みんなでどんぐりを集めて、集めたどんぐりも使って、植樹用の苗を育てます	みんなで育てたどんぐりの生育を観察しながら、ポットに植え替え	保育園棟竣工時に、みんなで育てた苗木を園庭に植樹します	児童館と児童発達支援センター・すぎのこ教室棟竣工時に、みんなで育てた苗木を園庭に植樹します

どんぐり勉強会・座学 12名

今回の複合施設を計画するにあたって、事前に先生達の意見を聞いたところ、竣工後の緑地の使い方に関して、不安があるということが分かりました。そこで今回は、みどりに関わる楽しさを知ってもらうため、みんなでどんぐりを育てることを考えました。成長を観察することで、よりその場への愛着を感じて頂きたいと思い、このプロジェクトがスタートしました。



どんぐり拾いを始める前に、事前に園の先生達に向けて、どんぐりについての勉強会を行いました。

長久手のどんぐりの種類

長久手市には落葉はアベマキ、常緑はシラカシ、ツクバネガシが多くあります。クヌギは従来関西に多く見られますが、最近は長久手市でもよく見かけます。また、長久手市周辺の東海丘陵地にはフモトミズナラという全国的にも珍しいどんぐりの木も生育しています。

拾うどんぐりについて

どんぐりは、同じ樹木でも拾う日や場所で、苗に向いているか、否かが大きく変わります。一見同じように見えるどんぐりにも、どのような違いがあるかを知ると面白いです。葉っぱも、種類を見分ける大きなヒントになるので、一緒に拾うと便利です。

植えるまでのポイント

- ・2日間水に漬けて洗んだどんぐり
- ・硬くて、色が濃くて、虫食い後や割れていない
- ・乾燥させないように注意する

どんぐり勉強会・どんぐり拾い

見て歩いて、学んで楽しむ、どんぐり拾い

”拾ったどんぐりが上郷の施設で使われるんだよ!”と声かけをしてもらいながら、児童、園児に拾ってもらいました。どんぐり拾いを通じて、子供達や先生達は身近にあるどんぐりの木には様々な種類があることを学びました。

保育園

552名

上郷保育園	34名	長湫東保育園	109名
色金保育園	242名	長湫南保育園	55名
長湫西保育園	58名	長湫北保育園	54名



どんなのおちてる?

上郷保育園に同行した時の様子

児童館

209名

市が洞児童クラブ	10名	ネイチャー探検隊	12名
南児童クラブ	8名	東児童クラブ	28名
下山児童クラブ	45名	東第2児童クラブ	11名
長久手西児童クラブ	15名	長久手児童クラブ	80名



10月はアベマキがいっぱい!



ネイチャー探検隊に同行した時の様子

すぎのご教室

8名



樹齢150年!
多度社の
ツクバネガシ



この木知ってる?



すぎのご教室に同行した時の様子

関わってくれた人数は、おおよそ 1,000 名!

各保育園・児童館・すぎのご教室に通っている、多くの園児・児童・先生が参加してくれました。ありがとうございました!

